

PaPo ぽこあぽこ

「地域における公益的な取組」

「パンが育んだ地域とのつながり」

通所系事業管理責任者 松下 卓永

平成 28 年改正社会福祉法で、社会福祉法人の「地域における公益的な取組」の実施に関する責務規定が創設されました。規定のあるなしにかかわらず、また過去、現在、未来を問わず、社会福祉法人にとって地域との交流が大切であることは言うまでもないことです。我々は、我々が地域に対して供することのできる公益は「普段からの交流によって生まれるつながり」の中にあると考え、その更なる深化を目指して日々地域活動に取り組んでいます。これまでに支援スタッフやご利用者が地域の方々に助けて頂いた事は数知れずありましたが、逆に我々が地域の方々のお役に立てる場面も大いにあるのです

一例として、ワークサポートセンター今人「ほくほくパン工房ふえり〜ちえ」の地域活動をご紹介します。きっかけは平成 28 年 6 月、関屋まちづくり協議会主催の「関屋カーニバルイベント」でした。この機会に準備から後片付けまでを共にした事で関屋地区の住民方との交流が開始。各種イベントや老人会・関屋病院などでパンの販売を行うようになり、平成 28 年 10 月の近住自治会主催の「近住まつり」では、民生委員や香芝市社会福祉協議会の方々の協力のもと、ひとり暮らし高齢者世帯への見守り支援を兼ねた訪問販売も実施しました。イベント参加が難しい高齢者の方々にこちらから電話をかけ、注文を受けてイベント限定のパンを配達するのです。パンの販売を通して地域のつながりをより深め、また我々自身もその中に根を下ろし、育まれた信頼関係から活動の輪は更に広がっていきます。

うれしい出来事がありました。あるご利用者がご家族と外出したところ、電車の中で偶然会った老人会の方が「いつもおいしいパンをありがとう」「また持ってきてね」と声を掛けて下さったのです。ご家族からは「私たちの知らないところでこの子を知ってくれている人がいてうれしい、この子も社会で頑張っているのだと感じた」との言葉を頂き、築いてきた関係が様々な喜びにつながっている事を殊更に実感しました。我々にとっても大きな喜びであり、自信につながる一件でした。

地域活動から生まれたご利用者と住民方とのつながりを保ち、発展させる事が、我々通所事業所の提供できる「公益」であると考えます。これからも地域の方々との顔の見えるお付き合いを続け、喜びの機会を積み上げていきたいと思っています。



法人内事業活動紹介 ～「ワークサポートセンター今人」「我楽」「すみれの里」～

ご利用者と共に元気に、楽しく活動させて頂いています。その中でもピックアップした活動・イベント・商品について、ご紹介させていただきます。

販売の様子

■ ワークサポートセンター 今人



●ほくほくパン工房ふえり～ちえ

f e l i c e

ふえり～ちえでは、毎朝焼きたてのパンをご利用者と一緒に袋に入れる作業をしてから販売に出発します。香芝市福祉センターをはじめ、香芝市内の役所や施設での販売、また香芝市以外にも葛城市や関屋地区での販売など販路を広げています。

奈良県産の米粉を中心に使用したパンはもちろん、ラッテ高松のホエイを使用したロールパンで作るラスクも人気です。今しかない特別感をお客様に感じて頂きたいと、秋にはラスクをハロウィン限定パッケージに変更しました（一部商品）。パンもラスクも季節感を大事にしたいと考え、ご利用者と共に案を出し、ひとつひとつの商品を作り上げています。「自分たちで作った」という自信を持ちながら、商品をお客様にアピールし、毎日笑顔で販売しています。



ラスクのハロウィン限定パッケージ

■ 我楽（GALA）



くまもと復興支援フェアの様子

●ナチュラルカフェ モンステラ



2016年4月、2度の大地震により多くの被害を受けた熊本県。被害額は4兆円近くに上り県内の交通、施設、産業、文化財など様々な所に深刻な影響を及ぼしています。そのような困難な状況の中、熊本を元気にするための取り組みにモンステラも協力したい！との思いで10月は『くまもと復興支援フェア』を開催しました。お菓子や食材を『ちょっとだけ意識して熊本産にすれば・・・』1人の100歩より、100人の1歩その『ちょっとだけ』が大きな力になります。「互いに支えあいながら熊本を元気にしていきましょう！」と熊本産の無農薬野菜をはじめ、熊本で頑張っておられる社会福祉法人の授産品、熊本名物など様々な熊本の食材を取り寄せて販売させて頂きました。いつもと違う珍しい商品が並び、お客様にも大変喜んで頂きました。今後もモンステラの野菜いっぱいサンドイッチやランチにも熊本からの産地直送野菜をどんどん使って皆様に健康と安心をお届けしていきます♪

●さぼーと班

(上) 季節ごとの飾付の様子
(下) 毛糸で作ったコースター

今年度、創作活動のひとつとして、毛糸を使ったコースター作りを新たに展開しています。利用者さんそれぞれが好きな色の毛糸を選び、マイペースに手作りされています。色とりどりにできあがったコースターはナチュラルカフェモンスターにて販売していますが、今年は奈良県にて開催される国文祭・障文祭の作品展「県下一品！アートな福祉」にも出展される予定です。

ボノボビル3階廊下の壁面には、季節に応じた飾りを毎月作成し掲示しています。季節を感じられるものをモチーフにして切り絵や貼り絵、折り紙で作った作品を飾っています。ボノボビルの前を通る時には目を向けて頂けたら幸いです。



■ すみれの里



《 美術交流 》

すみれの里

平成29年3月より、香芝高校美術部の生徒と顧問の先生に来所頂き、共にひとつの作品を作り上げる美術交流を行っています。初回の作品については、春をイメージした大きな素敵な作品が出来、朝日新聞奈良紙面にも取り上げられました。夏・秋ごろの美術交流は、奈良県障害者作品展に出展するための「ナチュラルおもちゃ箱」を作成し、今年は国文祭・障文祭もあり、奈良県文化会館と万葉ホールに展示される予定です。



美術交流の様子

リズム体操の様子

《 個別プログラム 》

6月より活動の中で個別のニーズに応じたリズム体操やリラックスタイムを取り入れています。普段不足しがちな運動も、グループで楽しく取り組むことによって、意欲的に参加される方が増えてきました。リラックスタイムでは、ゆったりとした音楽を流して、緊張がほぐれるような雰囲気を作り、ゆっくり過ごして頂いています。また、福祉センターのどんづる峰温泉を利用した入浴支援を週1回金曜日に実施（現在男性のみ）。大きなお風呂できれいさっぱり気持ち良く過ごして頂いています。



第4回 「IWAKI 夏フェス」 開催

7月29日



第4回 IWAKI 夏フェス 副実行委員長 森田誠治



香芝市福祉健康部部長 森村様

今年で4回目となりました法人イベント「第4回 IWAKI 夏フェス」を、香芝市保健センター前駐車場にて盛大に開催いたしました。今年は、香芝市福祉健康部部長 森村様よりご挨拶を頂戴し、香芝天衝太鼓の皆様による盛大なパフォーマンスによって、夏フェスの幕が開きました。

“かしよさ”の皆様によるよさこい



“奈良クラブ バモス”の選手によるパフォーマンス

催し物は、香芝市職員の皆様によるよさこい演舞“かしよさ”や、数多くのコンテストで素晴らしい成績を残されている香芝中学校ブラスバンド部の演奏披露、奈良県を拠点に全国で活躍されている、障がいのある方のサッカーチーム“奈良クラブ バモス”の皆さんによるパフォーマンス、NPO 法人浪速鳶伝統保存会の皆様による梯子乗り、香芝高校コーラス部による素敵な歌声披露まで、地域の皆様にお力添えいただき、どれも素晴らしいもののばかりとなりました。ご来場いただいた皆様にも、一緒になって盛り上がっていただき、楽しい時間を過ごすことができました。

ビンゴゲームの様子



様々な催し物の後には、今回初めて企画したビンゴゲーム大会の開始です。司会を務めた下村理事長の前には、受付で購入したビンゴカードを握りしめ、欲しい商品が当たるように目を輝かせて多くの方にお集まりいただきました。任天堂スイッチや美顔器、タブレット端末など数々の商品が目白押しで、商品が当たると、笑顔いっぱい商品を受け取っておられました。

やや夕暮れが差し掛かり、提灯に明かりがともると江州音頭二上会様の盆踊りが始まりました。ご来場の皆様も次々に加わって櫓の周りに大きな踊りの輪ができ、障がいのある人もない人も一緒になって笑顔で踊っている様子はとても楽しそうです。

二上会様による盆踊りの様子





また、催し物だけではなく、今回も数多くの模擬店にご出店頂きました。奈良県身体障害者福祉協会様、遊友会様、社会福祉法人 青葉仁会様、社会福祉法人 わたぼうしの会様、社会福祉法人 萌様、さかもとクレープ様・・・等のご協力により模擬店を出店することができました。たこ焼き、唐揚げ、フライドポテト、カレーライス、フランクフルト、焼そばなどの模擬店にもたくさんの人が集まり、美味しそうに召し上がっておられました。また、食べ物だけではなく、当てものやスーパーボールすくい、ヨーヨー釣りなど体験型の模擬店もあり、子どもさんを中心に大盛況でした。

IWAKI 夏フェス名物『大花火』

(上) さかもとクレープ様のブース

(下) 法人職員による模擬店の様子



催し物や模擬店をいっぱい楽しんだ後は、夏フェスの終わりを告げる大イベント大花火が司会者の掛け声と共に南の夜空に次々打ち上がりました。色とりどりの花火に、花火を見て感動されておられる方や、笑顔で「たまやー」と掛け声をあげられる方など、障がいのある人もない人も全ての人が一体となり、楽しんでおられました。

このような素晴らしいお祭りの開催にご協力くださいました香芝市行政関係の方々、地域住民の皆様、学校関係者及び生徒の皆様、各社会福祉法人の皆様、そしてご協賛くださいました企業並びに個人の方々、ボランティアの方たちなど、多くの方のお力添えがあってなし得たお祭りだと実感しております。この夏フェスにお力添え頂いたすべての方に感謝の意を申し上げたいと思います。

来年は法人の30周年を迎える年にもなります。「第5回 IWAKI 夏フェス」では、今年以上に素晴らしいお祭りとなるように頑張りますので、ご期待して頂けますよう宜しくお願い申し上げます。



〽〽 ご協力いただきました皆様 〽〽



津田貞男、吉原成信、久米レイ子、武内義範、船木燃料店、中塚正人、阪本石油(株)、山本あい、竹村香織、古川義生、井上猛、(株)タクサン、ゆらくの里家族会、イドタフレスコ、イカリトンボ、岡村プロテックス(株)、戌亥幸秀、新世紀建工、大和信用金庫香芝中央、ジュルネフーズ(株)、ステップワン、谷川千尋、愛の会（今人家族会）、(株)田原建設、桎葉靖子、西川自動車、滝井優太（順不同 敬称略）

ほか匿名希望の方多数よりご協賛をいただきました。ありがとうございました。

ゆらくの里 夏期施設内研修

8月10日

ゆらくの里 生活支援員 黒松 安子

平成29年度、ゆらくの里夏期施設内研修は、自立支援センターメインストリーム協会に所属されている鍛冶克哉さんに講演を行って頂きました。メインストリーム協会は、障がいのある方自身が運営する障がいのある方のための自立支援センターです。講師の鍛冶さんも生後7ヶ月で脳性麻痺と診断され、車椅子を使用して生活をされています。



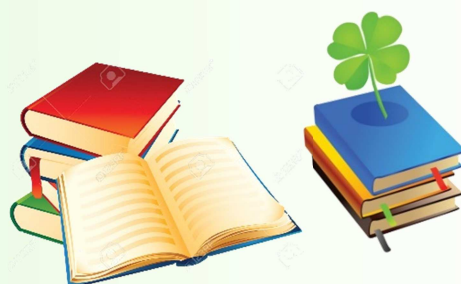
講演は、鍛冶さんの自分史から始まります。鍛冶さんは学生の頃、普通学校に通学され、友人達の協力を得て授業を受けておられました。就職活動では身体不自由である事を理由に不採用となる事が続き、自身が「障がい者」であるが故のハンディを再認識したそうです。「地域で生きる」ためには、行政との連携はもちろん、障がいのある方が、地域社会で地域の方々の視野に入る事が重要であるとの考えを聞かせていただきました。地域で障がいのある方を受け入れてもらうためには、近隣の方と関わる場面を多く持ち、固定概念や先入観のある方の考え方を変化させていく事が大切と話しておられました。



事業内容についてのお話では、ピアカウンセリングが印象に残っています。当事者であるからこそ気持ちの理解や自立生活に至るまでのアドバイスができるというお話には、全くその通りだと思いました。相談者の方に「あなたに私の気持ちが解りますか？」と問われた時、もし私なら答えに詰まってしまうでしょう。同じ境遇の人と話合うからこそ相談に来た方々に、人生を楽しく生きて行こうという意欲が湧いてくるのだと思います。また、アテンドサービス（介助サービス）は、障がいのある方からの指示で介助を行うと聞き、それがあ

るべき姿なんだと思いました。私は日々の支援で、定時にトイレ誘導を行うなど、意思の問いかけをせずに支援をしている事に気づかされました。今後は、色・好み・左右といった些細な事でも意思確認を行っていきたいと思います。

鍛冶さんはTV出演や海外公演といった多彩な活動をされている方です。アップテンポな話し方や性格の明るさ、ポジティブな考え方に引き込まれ、楽しく有意義な時間を過ごすことができました。



アート活動「アトリエ それいゆ」便り

秋も深まり、芸術の季節がやって来ました。「国文祭・障文祭なら 2017」が開催され、奈良県全域で芸術の花が開いています。2017 年秋までの、アトリエそれいゆの活動をご報告致します。



◆「ベリーズでひらひら賞」受賞（NPO 砂浜美術館主催・T シャツアート展）

アトリエそれいゆから毎年参加させていただいている「T シャツアート展」。今回、アトリエそれいゆの西谷光世様（所属：我楽さぽーと）の作品が、「ベリーズでひらひら賞」を受賞しました！ 1,311 点応募の中から 10 点が選ばれ、紺碧の海・ブルーホールが有名な中米の国・ベリーズにて、T シャツがひらひらしました。今回は、T シャツの旅の様子をご報告させていただきます。（砂浜美術館・ベリーズ展示レポート引用）

<ベリーズシティ・ロジャーススタジアムにて>

高知県黒潮町発の青年海外協力隊で活躍している方の協力の下、ベリーズ唯一のスタジアム・ロジャーススタジアムにて。現地でソフトボールを習う子供たちと一緒に 100 枚の T シャツでスタジアム美術館ができました。



<世界遺産マヤ遺跡（シュナントニッチ）にて>

ベリーズの 5 つのマヤ遺跡の一つ、世界遺産のシュナントニッチにて。高さ 40m のてっぺんでひらひら！

<ハーフムーンキーにて>

世界遺産のサンゴ礁・ブルーホールそばの無人島「ハーフムーンキー」にて。紺碧の海に T シャツの白が映えます。



7 月末、ベリーズへの旅から戻ってきた T シャツは、たくさんの笑顔と共に西谷様の手元に。T シャツを通して、多くの方の笑顔・喜びに出会うことができました。砂浜美術館の皆様、本当にありがとうございました！

【CUTE & HUMOUR－愛される作品たち－アトリエそれいゆ作品展】

2017 年 8 月 11 日（金・祝）～8 月 15 日（火）まで、観光客で賑わう奈良市西寺林商店街のギャルリ・サンクにて、アトリエそれいゆ初の単独作品展が開催されました。

1 年の準備期間を設け、出展する作品を入念に選定し、ギャラリーのオーナーさんとも何度も打ち合わせをしました。

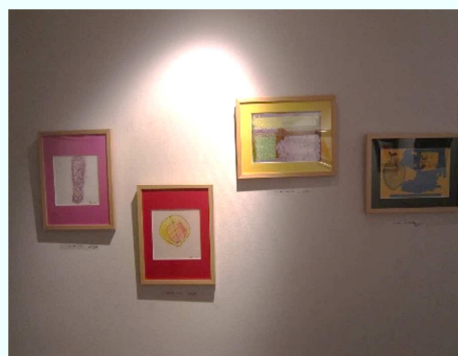
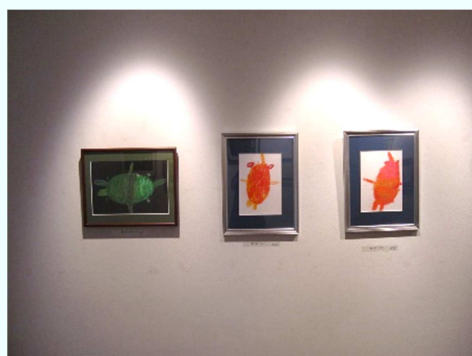
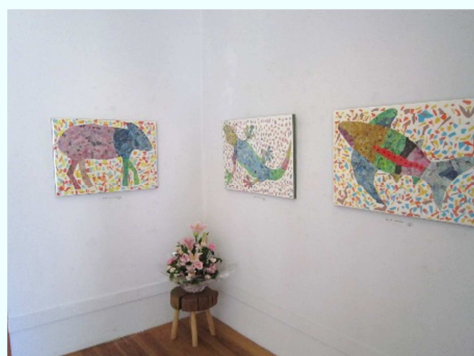
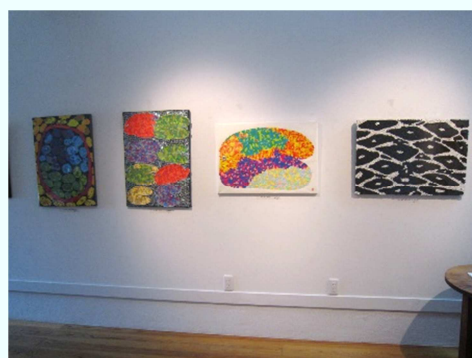
オープニングは、お客様がいらっしゃるか心配でドキドキ。でも、いざ始まってみると、「なら燈花会」が開催されることもあってか、法人関係者はもちろん、国内外からお客様が沢山お見えになり、多くの方と芸術の喜び・幸せを共有することができました。また、海外からのお客様と片言の英語で、障害のある人のアートを媒体として、ほっこりとした何とも言えない優しい雰囲気、皆で楽しむ事ができました。

その中で、嬉しいハプニングが…。ある日、泉鏡花文学賞を受賞された作家・詩人の寮三千子氏が、通りがかりにふらっとギャラリーに立ち寄られ、アトリエそれいゆの皆様の作品を大絶賛。そして、自身の Facebook にも作品展の記事を掲載してくださり、数多くの「いいね！」をいただくことができました。

同氏は、取り壊し寸前の奈良少年刑務所の保存運動を展開された事でも有名で、最近ではラジオなどにも出演されています。

こうして 5 日間、様々な人たちと障害のある人の作品を通して、馥郁とした芸術の香り漂う素晴らしい時間を分かち合うことができました。

応援してくださる皆様、本当にありがとうございました！



アート活動「アトリエ それいゆ」
岡橋 三起子

以和貴会 30 周年プロジェクト 『わくわくプロジェクト』

事業企画推進室 松田 加奈

29 年春号のぽこあぽこでもご紹介させて頂きました、わくわくプロジェクト。平成 30 年度に以和貴会が設立 30 周年を迎えるにあたり「以和貴会をご利用されている方と家族の方々、以和貴会の職員とその家族、地域の方々と共にわくわくすることを沢山していこう！」というプロジェクトです。

**わくわく
プロジェクト**

～みんなでわくわく企画をしよう～



今回は、8 月 25 日(金)に第 4 回 IWAKI 夏フェスの打ち上げとして BBQ 大会を行いました。以和貴会の職員とその家族を対象として開催させていただき、60 名という予想を超えた人数が集まり、わいわいと賑やかな雰囲気の中で BBQ を楽しみました。

わくわくプロジェクトの一環として趣向を凝らした BBQ にしたいとの思いで、パプリカやズッキーニなどの丸焼きに始まり、串にお肉を刺して焼いたり、アヒージョを楽しんだ後、アヒージョで出汁も溶け込んだオリーブオイルを使ってペペロンチーノを作ったりと盛りだくさんの内容でした。お腹が満たされた後は子ども達を中心に皆で手持ち花火や吹上花火をして楽しみました。



普段は別々の場所で仕事をしている職員とその家族が一堂に会し、なかなか話す機会のない人とも関わることができました。初めての企画ということで不安もありましたが、準備から片付けまでお手伝い・助言して頂きながら無事終了することができ、イベント後も「楽しかった!」「ありがとう!」「お疲れ様」という声を頂きました。

今後も 30 周年の年に行うイベントも待っていますので、今回のような以和貴会職員や家族だけではなく、以和貴会をご利用されている方と家族の方々、地域の方々など沢山の人の笑顔にできるイベントを今後も発信していけたらと思っています。

スイーツ甲子園 奈良大会 9月2日

イオンモール大和郡山で開催された「第9回スイーツ甲子園 奈良大会」において、当法人の sweets factory Monstera（スイーツファクトリーモンステラ）の『奈良県産米粉のチュイル』がグランプリを獲得しました。スイーツ甲子園 奈良大会は、障がいのある方が働く施設・事業所が、奈良の特産品を使用した手作りお菓子のアイデアや味を競うコンテストです。今回は8事業所が、味や包装に工夫を凝らした自信作を出品し、参加していました。審査は4名の審査員の採点とご来場のお客様に試食していただいた上での投票により行われます。その結果、一般投票・審査合計共に1位を獲得し、グランプリをいただくことができました。



今回参加するにあたって、奈良の食材使用ということで、香芝市産の大豆や米を使った安心・安全な手作りの味噌「かしば香るみそ」を使用した商品を開発することにしました。アピールポイントとしては、香芝産の食材を中心に製造していること、全ての工程においてご利用者が製造可能であること、万人受けする美味しさなどが上げられると考えます。アーモンド・ゴマ・かしば香る味噌&チーズの3つの味で、11月23日に神戸三宮で開催される第「9回スイーツ甲子園本大会」にも出品致します。みなさん、応援よろしくお願いします。

我楽 さばーと班 一泊旅行 9月28日～29日

今年は、淡路島方面へ一泊旅行に行ってきました。初日は、天候に不安がありましたが朝のうちに雨は止み、淡路島へのバス移動は景色も良く、車内でも皆さんニコニコと過ごされていました。淡路島フルーツ農園へ到着し、葡萄狩り体験。ご自身で狩られた葡萄を思い思い自由に食べられ、皆さんとても喜んでおられました。宿泊先の洲本温泉「海月館」に着いてからは、海が一望できる大浴場に行き、湯船につかりゆっくりと疲れを癒されました。夕食は大宴会場にて「海鮮和会席料理」を堪能。ご当地の玉葱を使った料理も美味しくいただきました。翌日は暑いぐらいの天候で、楽しみにされていた淡路ファームパーク「イングランドの丘」へ元気よく向かいました。最初に入ったコアラ館では、可愛いコアラを見て、ご利用者の中には「初めて見た～」と感動されている方もおられました。その後、園内をゆっくり散策した後、淡路牛乳を使用したソフトクリームやフロズンを食べたり、ご家族へのお土産を買ったりと、それぞれで楽しんでいただきました。この二日間、みんなで淡路島を満喫することができたと思います。一泊旅行を通じて楽しい思い出をたくさん作られ、また皆さんの普段と違う新しい一面を見ることができました。来年もご利用者の皆様が楽しめるような旅行を考えて行きたいと思います。



今人・モンスター・SORA 一泊旅行 10月12日～13日

今年度の旅行は、兵庫県の豊岡方面に出掛けました。

初日は、出石でお蕎麦と丹波牛の昼食を味わい、お腹も満たされた後、「おかき工場」を見学しました。おかきの試食にお茶までついて、ホッとできる時間を満喫。工場見学では普段できない体験に、皆さん「おお～」という声をあげながら、しっかりとおかき作りの様子を見ておられました。宿泊先のホテルに到着してからは、広々としたお風呂やゲームを楽しんだり、お部屋でゆったりとくつろいだりとそれぞれの時間を過ごされました。そして待ちに待った宴会では、おいしい料理をお腹いっぱい召し上がり、時間いっぱいまでカラオケを楽しんでおられました。



2日目はホテルの横にある、城崎マリンワールドにて、イルカ・アシカのショーを見たり、なまこやヒトデに触れる体験をしました。あっという間に時間が過ぎて、名残惜しさも残しつつ昼食場所へ。昼食の八鹿豚の豆乳しゃぶしゃぶは、美味しさのあまり、黙々と召し上がっておられました。今回の旅行を通して、普段は共に仕事をしていない人とも話す機会となり、また皆さんの輪が広がり、お互いに相手を知る良い機会となりました。

ゆらくの里 BBQ 大会 10月15日

今年も、ゆらくの里家族会主催のバーベキュー大会が開催されました。

スタッフとご利用者の為にと、ご家族の皆様方がご用意して下さった豪華なお肉や野菜・海産物に舌鼓を打ちながら、普段メニューにはない食事を、ご利用者だけでなくスタッフも味わうことが出来ました。

高齢化・健康維持・管理等の理由から、なかなかこれまで通りには召し上がる事の出来ない方、お肉や脂っこい食事が苦手になった方等も、自ら進んで召し上がり楽しんで食事をされている姿を見ることができ、普段、支援をさせて頂いている私たちも、嬉しい気持ちになることができました。

また、スタッフ・ご利用者様・ご家族様が揃って食事をし、お話を聞かせて頂ける機会は、BBQ 大会以外には無く、スタッフ一同貴重な時間となりました。通常の形態では、十分に食事を楽しんで頂けない方も増えてきている中でも、咀嚼・嚥下に配慮させて頂いたソフト食や、箸休めの焼きそば等、一人でも多くの方に参加して頂ける様、今後ともご提案させて頂けたらと思います。ご家族の皆様、本当にありがとうございました。



新入職員紹介

ご利用者様のために精いっぱい頑張ります
どうぞよろしくお願い致します



ひらやま のりたか
平山 憲崇 (9月1日入職)
我楽 (SORA) 正職員

9月1日より以和貴会でお世話になっております。各運営場所を研修させて頂き、現在はふれあいキッチンSORAで勤務しています。

支援に関しては未経験で、皆さん多々ご迷惑をおかけすることはあると思いますが、精一杯頑張っていく予定です。よろしくお願い致します。



なかがわ かおる
中川 薫 (9月7日入職)
ゆらくの里 パート

9月より、ゆらくの里でお世話になっております。以前は特別支援学校で障がいをお持ちのお子さんに対して支援していた経験があります。

経験は浅いので、先輩方に教えて頂きながら頑張ります。よろしくお願い致します。



ごとう そうすけ
後藤 壮輔 (9月19日入職)
今人 正職員

9月19日から今人で勤務させて頂いています。福祉は未経験なのでわからないことだらけですが、

日々勉強して利用者の方とよりよい関係を築いて支援をしていき自分自身も成長していきたいです。よろしくお願い致します。



ふじもと ちか
藤元 千賀 (9月19日入職)
今人 正職員

9月19日より今人で勤務させて頂いてます藤元です。福祉は未経験ですが、利用者の方をサポートしていけるように日々勉強しながら頑張ります。よろしくお願い致します。

《ありがとうございました》

多くの方よりご寄附いただきありがとうございました。皆様方からの寄付を施設整備等、有効に活用させていただき、ご利用者のために使用させていただきます。

《個人》

丸尾和夫、中村清子、野島佳枝、増尾明広、中筋廣次、西風美智子、戌亥幸秀、中塚かをる、泉中美鈴、匿名希望1名

《業者ほか》

(株)タクサン、老松園、香芝テック、(株)田原建設、(株)ステップワン

(順不同・敬称略)

《賛助会員募集》

引き続き賛助会員を募集いたします。同封の振込用紙にて会費のお振込を是非お願い申し上げます。寄付金控除を受けるための領収証をご希望の方は「通信欄」にてご連絡ください。

《編集後記》

夏の暑さも過ぎ、気が付けば秋がやってきました。今年も早いもので残り2ヵ月。ハロウィンやクリスマスなど、楽しいイベントもたくさんあり、あっという間に今年が終わってしまいそうです。やり残したことが無いよう、いっぱい楽しみましょう！

発行： 社会福祉法人 以和貴会
住所： 〒639-0261
奈良県香芝市尼寺616番地
編集責任者：理事長 下村 卓司
Mail： office@yuraku.or.jp
発行： 平成29年10月